

旭川支店

旭川支店は、主に用地測量、道路調査(各種交通量調査)業務を担当しています。

北海道は広大な地域に都市が分散しており、高速道路の整備や冬期の交通対策が強く求められています。

交通量の変化や交通流動を把握し、今後の道路整備計画の基礎資料を得ることを目的とした交通量調査は重要であり、より正確なデータが求められます。

交通量調査は、その大半が人手による観測であることから、弊社では調査前には観測データの精度向上と調査中の事故防止のため監督員および調査員が一同に会した教育訓練を行うことで、より安全で質の高い成果品の提供に努めています。

平成19年度旭川開発建設部管内の交通量調査の概要

- 調査地点
 - ・旭川紋別自動車道路関連(比布町～上川町間12地点)
 - ・名寄バイパス関連(名寄市 10地点)
 - ・富良野道路関連
(主要国道38号・一般国道237号 10地点)
 - ・道東自動車道関連(勇払郡占冠村 2地点)
- 調査時期
 - ・春期(GW:ゴールデンウィーク)
 - ・夏期(7月中旬・お盆)
 - ・秋期(10月中旬～下旬)
 - ・冬期(1月下旬頃)
- 実施調査日
 - ・過年度の実施データを基に、関連調査業務との調整を図りながら選定。

網走出張所

網走出張所は、道路・河川・農業などの公共事業の計画実施に伴う資料作成や施工に向けて必要となる調査等を主業務としています。

近年は「道の駅」の利用状況調査や、ビューポイントパーキング(とるぱ)では外国の観光者向けに案内看板用の翻訳など、公共事業の変革により受注業務の内容にも変化が見受けられます。

このため、当出張所では「迅速・確実」をモットーに所内のコミュニケーションはもとより社内の連携を密にし、質の高い成果品と短期納品など発注者の要望に応えられるよう日々努力しています。



平成19年度網走出張所担当業務

- 網走開発建設部管内 道路調査資料作成外一連業務
- 網走道路事務所 道路資料作成業務
- 常呂川外河川事業資料整理外業務
- 網走道路事務所 道路事業資料作成業務